



平成 20 年 5 月 16 日

各 位

会 社 名 太陽毛絲紡績株式会社
グリーンシート銘柄 オーディナリー
コード番号 3211
本社所在地 埼玉県川口市上青木 5-5-9
問い合わせ先 責任者役職名 管理本部長
山中 庸
TEL (048)265-2414

平成 20 年 9 月期中間(連結・単独)業績予想との差異
及び通期(連結・単独)業績予想の修正について

平成 20 年 9 月期(平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)の業績予想について、平成 19 年 11 月 21 日付当社「平成 19 年 9 月期決算短信」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

1. 平成 20 年 9 月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期 (平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	490	△10	△35	△38
今回修正 (B)	401	△10	△45	△65
増減額 (B-A)	△89	—	△10	△27
増減率	△18.2%	—%	△28.6%	△71.1%

(2) 修正理由

今中間期における売上高は、天候不順、個人消費の低迷の影響を受け、冬物衣料販売が低調に推移するなど依然として厳しい経営環境の中、当社グループは経営効率を図ると共に商品戦略や営業体制を整備してまいりました。その結果、売上高につきましては 401 百万円(当初予想比:89 百万円の減少)となる見込みであります。

営業利益につきましては、当初予想と同額の 10 百万円の損失となる見込みであります。

経常利益につきましては、45 百万円の損失(当初予想比:10 百万円の損失増加)となる見込みであります。

中間純利益につきましては、長期滞留棚卸資産の評価損として 20 百万円を計上したことから、65 百万円の損失(当初予想比:27 百万円の損失増加)となる見込みであります。

(3) 通期 (平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	1,520	80	30	15
今回修正 (B)	1,240	58	8	△38
増減額 (B-A)	△280	△22	△22	△53
増減率	△18.4%	△27.5%	△73.3%	△353.3%

(4) 修正理由

売上高につきましては、今後の日本経済が、米国経済の景気後退懸念、原油、穀物など原材料価格の高騰、個人消費の低迷も相俟って、企業業績悪化への懸念が大きく広がるなど、先行き不安材料も払拭出来ない状況の中、通期予想といたしまして、売上高は、1,240 百万円(当初予想比:280 百万円の減少)を見込んでおります。

営業利益及び経常利益につきましても、上記理由により、営業利益 58 百万円(当初予想比:22 百万円の減少)、経常利益 8 百万円(当初予想比:22 百万円の減少)を見込んでおります。当期純利益につきましては、海外持分法適用会社 2 社のうち 1 社の出資金見直しによる特別損失 24 百万円計上を含めまして、当期純損失 38 百万円(当初予想比:53 百万円の減少)を見込んでおります。

(5) ご参考:前期の実績 (平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期(18/10～19/3)	706	7	△40	△73
通期(18/10～19/9)	1,622	64	△10	△69

2. 平成 20 年 9 月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間期 (平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	465	5	△20	△23
今回修正 (B)	382	2	△23	△43
増減額 (B-A)	△83	△3	△3	△20
増減率	△17.8%	△60.0%	△15.0%	△87.0%

(2) 修正理由

今中間期における売上高は、天候不順、個人消費の低迷の影響を受け、冬物衣料販売が低調に推移するなど依然として厳しい経営環境の中、当社は経営効率を図ると共に商品戦略や営業体制を整備してまいりました。その結果、売上高につきましては 382 百万円(当初予想比:83 百万円の減少)となる見込みであります。

営業利益につきましては、2 百万円(当初予想比:3 百万円の利益減少)、経常利益につきましては、23 百万円の損失(当初予想比:3 百万円の損失増加)となる見込みであります。

中間純利益につきましては、長期滞留棚卸資産の評価損として 20 百万円を計上したこ

とから、43 百万円の損失(当初予想比:20 百万円の損失増加)となる見込みであります。

(3) 通期 (平成 19 年 10 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	1,460	80	30	16
今回修正 (B)	1,180	60	10	△36
増減額 (B-A)	△280	△20	△20	△52
増減率	△19.2%	△25.0%	△66.7%	△325.0%

(4) 修正理由

売上高につきましては、今後の日本経済が、米国経済の景気後退懸念、原油、穀物など原材料価格の高騰、個人消費の低迷も相俟って、企業業績悪化への懸念が大きく広がるなど、先行き不安材料も払拭出来ない状況の中、通期予想といたしまして、売上高は、1,180 百万円(当初予想比:280 百万円の減少)を見込んでおります。

営業利益及び経常利益につきましても、上記理由により、営業利益 60 百万円(当初予想比:20 百万円の減少)、経常利益 10 百万円(当初予想比:20 百万円の減少)を見込んでおります。当期純利益につきましては、海外持分法適用会社2社のうち1社の出資金見直しによる特別損失 24 百万円計上を含めまして、当期純損失 36 百万円(当初予想比:52 百万円の減少)を見込んでおります。

(5) ご参考:前期の実績(平成 18 年 10 月 1 日～平成 19 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期(18/10～19/3)	675	17	△27	△73
通期(18/10～19/9)	1,571	77	7	△64

以上